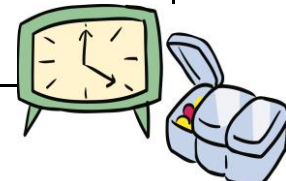


	準備	2日前	1日前	当日		1日後	2日～4日後	5日～退院まで
				術前	術後			
達成目標	<持ち物> 別紙「持ち物について」 をご参照下さい <禁煙について> 肺合併症を起こす原因 になるので手術前は禁 煙していただくようお願い 致します。 <その他> ①手術時間は入院後 お伝えします。 ②入院後主治医から の説明の際、ご家族の 同席をお願いする事が あります。 	手術の必要性を理解し、手 術準備ができる		精神的、身体的に安定 した状態で手術に望む ことができる	①全身状態が安定し ている ②出血がない ③創痛のコントロール ができる	①全身状態が安定して いる ②出血がない ③創痛のコントロール ができる ④歩行ができる		退院後の注意点が理解でき不 安なく退院を迎えることができる
薬剤						水分摂取可能なら内服 薬(痛み止め)開始しま す。		
注射		脱水予防に点滴を行いま す。			手術後も点滴を継続し ます。			
処置			体の除毛・お臍の掃除を します。	術前の排便状況により 浣腸をすることがありま す。	手術後から酸素吸入 を行います。	呼吸に問題がなければ 酸素吸入は終了です。		
検査			適宜検査をおこないま す。				検便があります。 (3日目)	検便があります。(7日目)
安静度					手術後はベット上安静 になります。	手術後の第一歩行は看 護師と行います。	安静度の制限はな くなります。	
食事/水分		水分摂取は医師の指示に 従って下さい。 食事は中止となります。	絶食中です。 水分摂取は医師の指示 にしたがってください。	絶飲食		水分(水・お茶)500ml/ 日まで可能です。		問題がなければ流動食から開 始し少しずつ普通食に近づけて いきます。
留置物					尿管・お腹に管が入り ます。	歩行ができれば尿の管 は抜きます。		問題がなければお腹の管をぬき ます。
看護			手術前日にシャワー浴をしま しょう。			お腹の管が抜けるまで 看護師により体拭きや 洗髪を行います。		★食事開始後も排便や腹部の 症状がないか確認をします。 ★お腹の管が抜ければシャワー浴 は可能です。 ★手術後14、21日目に体重測 定があります。
観察		腹部症状、腸閉塞の状況な どを含め全身の状態を観察 します。		手術に備え血圧など全 身の状態を観察しま す。	麻酔の状態や手術後 の全身状態の観察を 行います。	傷の状態や、管からの 排泄など観察を行いま す。	腸蠕動の回復、排 便・排ガスの確認 を行います。	
指導		★持参薬がある場合、看護 師へ提出してください。 ★主治医からの手術に関す る説明があります。時間調 整を行いますので担当看護 師に御確認下さい。	手術までに麻酔科医、手 術室、ICUの看護師の訪 問があります。(時間は決 まっています。)	★排尿を済ませたあと、 眼鏡・指輪・義歯・コンタ クトなど全てはずして下 さい。★手術室まではハ ジャマのまま歩いて向か います。★ご家族は出 棟までに来院下さい。	★手術後に痛みがあ る場合や眠れない時 はいつでもお知らせ下 さい。 ★術後は痰を飲み込 まないように積極的に 痰を出しましょう。	起立・歩行訓練を開始 します。 ★平日9時、休日9:30 ～回診があります。病 室で待機していただき ます。		
教育・説明								退院後は規則的な排便習慣を 心がけて下さい。腹痛・嘔吐・腹 部膨満・排ガス停止などの症状 があればすぐに受診しましょう。

※患者様の状態によって変更する場合がありますのでご了承ください。尚、ご不明な点がございましたら看護師までお尋ねください。
※入れ歯、ジェルネイル、カツラ、アクセサリ、コンタクトは手術当日、処置等で必要な際は取り外しをお願いします。また入院中のお化粧品もご遠慮下さい